

イルカの空中散歩

第88回

天草エアライン

客室乗務員飛行

2008/04/01

C/A山口が行く！あなたのまち
～熊本編～



このコーナーは、C/Aが各就航地へ行き、あなたのまちの観光等を毎月シリーズでお届けしていきます。お楽しみに
また、「あなたのまちの」を紹介してほしい！といったお客様のお声も心よりお待ちしております。(^ ^)

皆さま、こんにちは。桜も咲き、春本番になってまいりました。
この季節は、入園式・入学式・入社式・転勤等の行事がもりだくさんですね。私は働き始めて3年目を迎えますが、入学式の光景を見かけるといつも“あ～、私も学生の頃があったなあ～。”なんて懐かしく思います。
さて、春...皆さまにどこをご紹介しようかなあ～と色々考えました。そこで新しい生活が始まる皆さまに、美味し～いお水が飲めて、さらに手作りのお手紙が作れる白川水源をご案内します(^ ^)



白川水源は、車で熊本市内からスムーズにいけば1時間ちょっとで着きます。阿蘇にはたくさんの水源がありますが、白川水源は名水100選の1つなんです。水源は常温14℃の水が毎分60トンも湧き出ています。水源地へは施設管理費として100円必要になりますが、その場で飲んでもいいですし、持ってきた水筒やペットボトルに汲んで帰ることもできます。自分の顔や周辺の木々が水面に映るくらい透き通っています。この水源地のすぐ側にある建物で紙すき体験をしました。1回800円で、色紙サイズと葉書2枚ができる大きさを選べます。私は葉書を作りました。ここからは、葉書が出来上がるまでをご説明します！



すき舟の中にすけたをいれ、紙料をすくい取ります。すけたを上下左右に揺らし、中のお水を落とします。激しく揺らすと紙がしわよってしまうので、優しく揺らすのがコツ！！



すけたを約160度くらい反転し、もう一度すき舟の中に入れ、最初の紙がなくなるようにその上に紙料を重ねます。この作業を2～3回繰り返します。



紙に厚みができたら、自然の花や葉、色紙や色づけでオリジナルの飾りをつけていきます。どんな模様にしようかなあ～



デザインが決まったら、紙を乾かしていきます。まずは、ドライヤーのような温風がでる機械で乾かします。更に温かい天板のようなところに貼り付け待つこと約20分



出来上がりましたあ
春をイメージして作ってみました。どうでしょう？

初めてでも、お店の方が丁寧に教えて下さるので簡単にあっという間に完成します。出来上がるとまたデザインや色がくっきりとして感じが変わります。この葉書で文字を入れるとどんな風になるのかなあ～と楽しみです。美味し～いお水とマイナスイオンを感じながら世界に一つだけのお手紙を作れるなんて贅沢ですよ！今は携帯電話の機能も進んで、メールで済ませてしまうことも多いですが、新年度の始まり、手作りのお手紙でご家族やお友達に近況報告等はいかがでしょう？(^ ^)

白川水源アクセス
*南阿蘇鉄道「阿蘇白川駅」下車 徒歩15分
*車：国道57号線を阿蘇方面へ向かい立野の大橋を渡り、国道325号線を通り直ぐ観光案内板にしたがってたどり着きます！



ただ今操縦中 —副操縦士編—

「どんな人がイルカの飛行機を操縦しているんだろう？」と感じたことはありませんか？このコーナーではイルカ飛行機を操縦しているパイロットをご紹介します！



こんにちは。副操縦士の時任です。私たち操縦士は、日々安全運航に努め乗務しておりますが、天候の良い穏やかな日は、巡航中時々、空から日本の四季を感じることができるのです。

少し前までは阿蘇や久住連山の雪化粧、最近では八女市から柳川市へかけて流れる矢部川の河川敷一帯の菜の花畑が見られました。今頃は所々桜色に色づいた山々を見られるのではないのでしょうか。皆様も是非上空から日本の四季を探してみてください！



こんにちは！副操縦士の谷本です。この島で「西海岸」と呼ばれる何キロも続く海沿い道路を走りぬけ、とある絶壁に車を止めると、昔から変わることのない天草の風景と出会えます。

青い空と白いさざ波、東シナ海に浮かぶ雲のかけら、そして携帯は圏外...
「僕はこの島が好きなんです。ここでの生活も、ここに住む人たちも、そしてここから見える景色も。」
コト先生だったら、きっとそう言うでしょう。天草での生活も4年目に入ります。皆さまの旅のお手伝いができることをとても誇りに思っています。



はじめまして。天草エアライン副操縦士の米田と申します。出身は青森。まさか学校の教科書に出てきた天草四郎の地で勤務することになるとは夢にも思いませんでした。

時折、地元の雪が恋しくなることがありますが、天草は逆に気候が暖かく、気さくな人が多いのでとても住みやすいと感じました。
これからも皆様の足となり、楽しい空の旅を満喫して頂けるよう安全運航に努めて参ります。どうか宜しくお願い致します。
*よく間違われるのですが、私の苗字は「よねだ」ではなくて「ました」です(^ ^)



ご搭乗ありがとうございます！副操縦士の清水健夫です。出身は熊本県八代市です。

子供の頃からの憧れであったパイロットとなり、生まれ育った熊本の地で毎日フライトが出来て幸せです。これからも郷土の子供たちの夢を乗せて飛び続けたいと思います。今年度もボンバルで頑張る天草エアラインをどうぞ宜しくお願い致します。
Let's take-off with us!!

★下中一平先生、頑張ったよ★

H19年度教員の長期社会体験研修として小学校の先生が天草エアラインの仲間として一緒にイルカ飛行機のお仕事に携わって下さいました。先生、本当にお疲れ様でした。

“手でボールを扱っていたバスケットボールの選手が突然、足でボールを扱うサッカーの試合に出なくちゃならなくなった。”そんな、まったく違った環境での一年間の研修でした。
研修前半には搭降載の業務に就き、お預かりした手荷物・貨物の積み下ろしを行い、後半には接客の業務に就き、カウンターに立たせてもらいました。普段はジャージ姿の天草弁丸出しの教師が、ネクタイを締めて、標準語に近い天草弁(?)で話をしなくてはならず、カウンターでパタバタして、お客様にご迷惑をかけていたのは私です。
慣れた手ではなく、足でボールを扱わねばならないような状況。ルールも違えば、コートも違えば、思うように体が動かない、飛び交う会話についていけない、緊張してパニックになったり...。教える側から教えられる側になり、また、屋根に守られた仕事から屋根のない世界に変わること、これまで慣れきっていた自分に、立ち止まって考え、これまでを振り返るととてもすばらしい機会を頂きました。
また、DHC-8という一機の航空機を安全にかつ定時に運航させることがどれほど大変なことか、身をもって分かりました。代替のきかないという条件を背負いながら、夜遅くまで、時には徹夜で作業をされる整備と事務所の方、どんな時でも笑顔を保つカウンタースタッフとC/Aさん、きっちりとしたスケジュールで飛行機を飛ばすパイロットと運航の方。外からは見ることでできない社員の方の多くの努力に直に触れ、教師とは違うフィールドでありながら、向かおうとしている未来は同じではないかと感じました。それは、教師も天草エアラインも共に未来を作っていく仕事であるということ、天草の夢の架け橋であるということです。研修を終えても、天草の宝物であるDHC-8を天草エアラインのスタッフの方、そして、ご利用の皆様と一緒に育てていければと思います。 下中 一平

★下中先生★

